

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年12月23日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677500128
法人名	社会福祉法人 陵幸会
事業所名	グループホーム 陵幸園こころ
所在地	鹿児島県鹿屋市吾平町麓3811番地2 (電話)0994-58-5055
自己評価作成日	平成23年11月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年12月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・家庭的な環境の下で、利用者がその能力に応じ自立した日常生活が送れるよう援助し、地域との結びつきを重視しています。
- ・利用者一人一人の人格を尊重し、台所仕事、掃除、洗濯、買い物など、それぞれの役割を持って家庭的な生活をされています。
- ・ホーム周辺には、畑や山もあり、住み慣れた風景が広がり、ホームの菜園には色々な野菜を作り、収穫も共にされ喜んで下さっています。
- ・ドライブや散歩等、地域へも出かけ、知人の方との再会も楽しまれ、気分転換にもつながっておられるご様子です。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 【事業所の優れている点】
  - ・ホームは、日常的に地域との交流やつながりを大事にしている。避難訓練時の参加協力や事業所内に地域との交流に利用できる交流スペースを設けるなどしている。また、文化祭や農業祭への見学や踊りやフラダンス等のホームへの慰問、地域の子供会のボランティアや中学生の体験学習の受け入れを実施している。
  - ・ホーム開所当時の職員がほとんどであり、利用者との馴染みの関係がつづいているので、家族にとって親しく相談しやすい環境となっている。
  - ・医師や協力医療機関との連携がスムーズにできており、隣接の特別養護老人ホームの看護師との連携体制も整っており、利用者や家族にとって安心できるホームである。
- 【事業所の工夫点】
  - ・献立は、毎週利用者と一緒に楽しく話し合い決めている。法人の栄養士に定期的に相談し、アドバイスを受けている。利用者の嗜好調査を行い、献立に反映させている。
  - ・防災訓練は、地域の協力を得て実施するとともに、事業所内の避難訓練も毎月行い、常に防災に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホーム内に運営理念やこころ便りを掲示し、パンフレットにもわかりやすく示している。	理念は事業所内に掲示し、パンフレットにも載せている。職員で話し合い一部変更して、「こころ豊かに心のつながりを大切に」の理念を、職員会議やケア会議等にて確認している。職員は、理念を基によりよいサービスが提供できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外出時近隣の方と気軽にあいさつや会話ができている。避難訓練時等への協力を依頼して訓練参加をいただいている。	地域の文化祭や農業祭への見学、踊りやフラダンス等の慰問、子供会のボランティアや中学生の体験学習を受け入れている。また、避難訓練時の参加協力、近所からの野菜等の差し入れや近くの商店で買い物をするなど、地域との交流やつながりを大事にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	散歩時にあいさつを交わしたり近隣の方から野菜や花をいただいたり、こちらからも手作りの菓子や煮物等を届け交流している。地域子供会、父兄も遊びに来られ交流を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>年に6回会議を開き、報告し意見交換の場を設け、会議での意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月に1回開催している。家族や民生委員・部落の班長・市担当者や地域包括支援センター職員が出席している。活動内容等を説明し、外部評価の結果についても報告している。また、意見交換を行い、会議内容については家族会に報告しており、サービスの質向上に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に包括支援センターの職員に参加していただき意見や協力をいただくようにしている。又、中学生の職場体験の受け入れを行っている。</p>	<p>市担当者は、運営推進会議に参加したり、電話等で相談や情報交換や指導を受けている。ホームに隣接して地域包括支援センターがあり、普段から交流を深め協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>拘束しないケアを基本にしている。勉強、周知を図り対応している。</p>	<p>身体拘束をしないケアについては、法人の基本方針があり、同意書も準備している。身体拘束廃止委員会を毎月開催し、年に2回勉強会をしており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は玄関の鍵はかけないで自由に生活をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ケア会議や勉強会の中で取り上げ防止に努めている。職員間で検討しながら対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	自立支援はプラン作成より検討しスタッフはプランに沿って支援している。成年後見制度については、以前利用されていた方もおられた事もありスタッフが理解し対応できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者が家族に意見や不安な点など尋ね、十分に説明を行い理解の上で契約している。解約についても同様である。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	話しやすい雰囲気作りに努めている。ご意見箱を設置している。	意見箱を設置し、利用者からは日頃の生活の中で意見や要望を聞き、家族からは面会時を活用し、要望等を聞いている。家族会での要望は、職員全体で話し合い、解決できるように努めており、運営推進会議でも報告し運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回定期的に会議を開き意見提案を出す機会を設けている。急な事件発生時には更に検討会を設けている。	代表者は、毎月の職員会議やケア会議等で、職員からの運営に関する要望等を聞いている。開所当時の職員が多く、管理者も、日頃から職員とコミュニケーションが取れている。日常的に意見や要望等を聞き、勤務希望についても配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個々の都合を出来るだけ反映させた勤務体制とし意見を取り入れやりがいにつなげている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症に関する研修会や勉強会への積極的な参加を推進している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設と合同で研修発表会を開いて意見交換の機会もあり、他施設のいい点は導入している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	実施状況
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>傾聴観察を行い本人が安心して過せるよう配慮している。ミーティング等の機会を通して気づいた事など参考にして支援している。</p>	
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の意見や家族の事情等十分に伺い信頼感を持って何でも相談できる関係作りに努めている。</p>	
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人の状況把握に必要な事の優先順位を見極めて支援を見極めて支援を決めている。</p>	
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>残存機能に応じて洗濯物たたみや野菜の下ごしらえ、食事、野菜の収穫、配・下膳その他日常生活の家事等スタッフと一緒にしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方と一緒に過ごす環境を整えている。又、出かけたり、活動と一緒に参加できるよう計画している。訪問時部屋で過しやすい環境を整えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	町内の文化祭見学に出かけたり散歩や地域の商店に買い物に行ったりして知人と会う機会を作るようにしている。	買い物や外食等で、知人や友人との出会う機会が多くある。知人等の面会を通じて馴染みの関係が継続できるように支援している。自宅への外出等や美容院へは、家族の協力をもらいながら実施している。また、墓参りなどは、希望に添えるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	関心のある事や趣味等を把握し、活動時の共同作業等楽しめるよう企画している。洗濯物たたみや野菜の選別等会話しながらできるような雰囲気作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で退所されても入院先を訪問したりして家族とのつながりを保ち相談にのっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族に要望等を聞き意見に沿ってプランを作っている。家族や本人の状況を把握しながら進めている。	利用者からは、日々のふれあいの中で思いをくみ取り、意向の把握に努めている。意志疎通が困難な人には、家族から入居時や面会時に情報を得ており、本人の意思を尊重した生活ができるように、職員間で情報を共有し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や他機関より情報収集を行い生活歴や思いを把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の支援の中で現状の把握に努め、全スタッフが参照できるようにしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族、スタッフの意見を聞き、計画を作り必要に応じてカンファレンスを行い、計画修正を行っている。モニタリングを定期的に計画反映している。</p>	<p>利用者や家族の意見を聞いて、利用者の毎日の暮らしぶりをもとに介護計画を作成している。モニタリングは、6ヶ月毎に実施し、介護計画に沿った話し合いを毎月行っている。また、計画の見直しは、6ヶ月毎に行い、状態が変化した場合は随時見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録を記入し、変更等は申し継ぎ帳やノートに記入し全職員が情報共有できるようにしている。計画との相違点はその都度検討し見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の状況変化に合わせて意向を聞きながら施設と調整し、対応策を検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティアや中学生の体験学習などの受け入れや地元子供会、父兄との交流会も行っている。民生委員の方との意見交換の機会も設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医による訪問診療を月2回実施している。かかりつけ医と連携をとり相談できる体制の中適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医への支援体制を整えている。また、協力医療機関より月に2回の訪問診療があり、通院は家族の協力を得ながら支援している。医師や協力医療機関との連携ができており、利用者や家族にとって安心できる環境である。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員は入居者の変化に気づいたらかかりつけ医や看護師に相談し適切な受診や看護を受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時医師と面談の時間をとっていただいたり、家族と一緒に説明を受けるようにしている。退院後の受け入れ等連携を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期については、家族の意見を伺い話し合っている。事業所で可能な対応についてもきちんと話し理解を得るようにしている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応については、「重度化対応体制に係わる指針」及び「看取りに関する指針」がある。利用者や家族との話し合いによる意思確認の方法、看取りの実際について、事業所の方針を説明している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを作成、全スタッフで周知徹底を図っている。必要に応じ個々の対応について検討している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に訓練を実施し、確認を行っている。地域住民の協力依頼も行い、実際に訓練参加もいただいている。</p>	<p>防災訓練は、地域住民の協力を得て年2回実施し、事業所内の避難訓練は毎月行い、常に防災に対する確認をしている。また、救急訓練や消火器訓練も実施しており、スプリンクラーも設置されている。非常用の食料・水は備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>部屋への出入り時声をかけたり日常の会話でも丁寧な言葉で接するように心がけている。職員は本人のプライバシーに関する事を話さぬよう徹底している。</p>	<p>利用者の人格の尊重やプライバシーについては、年間研修計画をたて、勉強会の実施や外部研修への参加、法人全体でも研修を実施している。入浴やトイレでの対応等の日常の支援の中で、丁寧な言葉で接するように心がけ、利用者の思いを尊重した支援を行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者の意見や思いなど聞きながら何でも話せる雰囲気作りに努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の体調や思いを考慮し行っている。個性を大事にし無理強いしないよう心がけている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>好みに応じて衣類を選んだり髪染めやパーマなどは馴染みの美容院へ行かれたり、化粧の習慣のある方は継続して楽しんでいただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の方の嗜好調査を行い献立作りに反映している。食材の下ごしらえ、配膳、下膳もお手伝いいただき職員と同テーブルで同じ物をいただいている。	献立は、毎週利用者と一緒に楽しく話し合い決めている。栄養士に定期的に相談し、アドバイスを受けている。利用者の嗜好調査を行い、好みを献立に反映している。食材購入は一緒に出かけ、利用者はできる範囲で下ごしらえや配膳・下膳など、行っている。職員と利用者が、同じテーブルを囲んで、楽しく食事ができるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に応じ、粥、ミキサー、刻み、おにぎり等食べやすい形態に調理している。水分、食事摂取量を記録、把握に努めている。管理栄養士のアドバイスを定期的にもらっている		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後や外出後の口腔ケアの徹底に努めている。勤務シフトにて担当を決め口腔ケア実施表を作成記録している。必要に応じ歯科受診につなげている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々に合わせ尿、便意がなくてもトイレ誘導を実施し排泄パターンの把握に努め個々に対応している。	排泄チェック表を作成して、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。日中は適時に声かけをし、トイレ誘導を行い、できるだけおむつをしないで済むように、排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排泄チェックを行い水分補給や運動を促している。便秘予防には、食物繊維の多い食材を取り入れたり、服薬等の調整も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個人に合ったペースで楽しんでもらっている。入浴を拒む人は、安心感を持ってもらえるよう声かけや対応をしている。	入浴は週に3回で計画しているが、一人ひとりのそれぞれのペースで入浴を楽しめるように入浴支援をしている。また、入浴剤など使用したりして、気持ちよく入浴できるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の意向に沿って対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の病状を理解し処方内容を確認している。服薬変更時には家族、職員に報告記録している。薬の用法、用量、副作用等承知し服薬支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活暦、趣味、特技、経験を生活の中に活かしている。野菜作り、台所の仕事、創作活動など) 行事参加等も入居者と相談しながら決めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日常的に外出を支援している。ドライブや天気の良い時は散歩や「こころ菜園」の野菜の収穫に出かけたりして変化のある日常生活の提供に努めている。</p>	<p>天気のよい日は、利用者の希望の場所を散歩したり、ホームの菜園の野菜を収穫したりしている。花見のドライブや外食に出かけたり、歩行困難な利用者には、リフト車を使って外出支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個々の金銭能力を把握し、買い物時には本人が支払う機会を作っている。家族の協力を得てお金をもっておられる人もいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に応じて電話をかけたり、取り次いでいる。代弁、手紙の代筆等も行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節を感じていただけるよう四季折々の植物や野菜等育てている。リビングの飾りつけは入居者と一緒に行っている。室内の温度を調整し過ししやすい環境作りにも努めている。</p>	<p>リビングは広く、ゆったりとしたソファがあり、好きな場所でくつろげるよう椅子が置いてある。温度管理がされ心地よく過ごしている。季節感を大事にした飾りつけは利用者と一緒に作り、利用者が落ち着いて過ごせる環境で、家庭的な温かさを感じさせる共用空間である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合う者同士が自由にくつろげるスペースがある。(リビングや廊下のソファ、椅子など)</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族と相談して使い慣れた家具や物品を持ち込まれ家庭的な雰囲気作りに努めている。</p>	<p>居室は洋室と和室があり、電動ベッドと整理タンスが備え付けられている。居室には本人の使い慣れた家具や家族の写真等が飾っており、家庭的な雰囲気を大切に、安心して暮らせる配慮をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内はバリアフリーで物干しの高さの調整や廊下、洗面所、浴室、トイレ等、手すりを設置している。個人では使い慣れたシルバーカーや歩行器を持ってきて頂き安全で自立した生活が送れるよう工夫している</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない